

法務省政策評価懇談会（第56回）議事要旨

1. 日 時

令和元年7月9日（火）10:00～11:45

2. 場 所

法務省大会議室（地下1階）

3. 出席者

<政策評価懇談会構成員>

伊 藤 富士江	上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授
井 上 東	公認会計士
大 沼 洋 一	弁護士
(座長) 田 中 等	弁護士
野 澤 和 弘	毎日新聞社論説委員
宮 園 久 栄	東洋学園大学人間科学部教授

<省内出席者>

法務事務次官	辻 裕 教
政策立案総括審議官	西 山 卓 爾
官房参事官兼企画再犯防止推進室長	吉 田 雅 之
官房付	近 江 愛 子
秘書課企画調整官	田 島 昭 仁
人事課補佐官	佐 藤 太
官房参事官（予算担当）	深 野 友 裕
官房付兼国際課付	杉 原 隆 之
施設課技術企画室長	山 北 孝 治
厚生管理官総括補佐官	吉 原 仁
官房付兼司法法制部付	川 副 万 代
司法法制部付	廣 瀬 仁 貴
民事局付兼登記所適正配置対策室長	竹 下 慶
刑事局参事官兼総務課企画調査室長	是 木 誠
矯正局成人矯正課警備対策室長	白 川 秀 史
保護局観察課処遇企画官	勝 田 聡
人権擁護局参事官	中 島 行 雄
訟務局訟務企画課訟務広報官	江 原 幸 紀
法務総合研究所総務企画部副部長	野 原 一 郎
法務総合研究所研究部総括研究官	栗 田 知 穂
法務総合研究所国際協力部副部長	伊 藤 浩 之

出入国在留管理庁政策課長
公安調査庁総務部総務課企画調整室長

福原申子
小林賢一郎

<事務局>

秘書課政策立案・情報管理室長
秘書課補佐官

渡辺英樹
手塚貴与

4. 概要

平成30年度法務省事後評価実施結果報告書（案）及び規制の事前評価書（案）について事務局から説明した後、委員に意見を求めた。

5. 主な意見・指摘等

○平成30年度法務省事後評価実施結果報告書（案）について

<法教育の推進>

・法教育の担い手である教員や、受け手である児童・生徒に対し、アンケートなどをしなければ、施策が結果に結びついているのか、効果があるのか分からないのではないかと。

<社会経済情勢を踏まえた法務に関する調査研究の計画的実施と提言（青少年の立ち直り（デシスタンス）に関する研究）>

・研究結果は事前予想と余り違わなかったのではないかと。そうであれば、実施の意義をどう考えているか。本研究の活用方法はどのようなものか。事後評価結果表の減点項目については、減点理由を明示すべきではないかと。

また、本研究の継続的な実施及び成人についての実施も検討されたい。

<検察権行使を支える事務の適正な運営>

・被害者支援担当者中央研修のアンケートでは、研修に対する批判的な意見も記載されている。そういった意見を今後どのように生かすかなども記載してもらいたい。

<円滑な出入国審査及び不法滞在者等対策の推進>

・顔認証ゲートについて、これまで自動化ゲートの導入や同ゲートに係る事前登録を積極的に進めてきた経緯を踏まえると、顔認証ゲートに違和感を持つ国民もいると思われる。

また、自動化ゲートと顔認証ゲート二つの設備があることによって過大投資となるのではないかと。これらの点についてどの程度理解されているか把握するため、国民への周知度を測る指標を設けるべきではないかと。